



秋空に声高く

力いっぱいの応援

「フレー フレー…」 「三・三・セビョーシ…」 「応援歌ヨイ」と、応援団長の元気はつらつとした掛け声がスポーツの秋本番を告げました。

第35回大野市小学校連合体育大会は9月18日、市民グラウンドで各校の5・6年生1,170人が参加して開かれました。絶好のスポーツ日和に恵まれ、各選手は日ごろの練習の成果を存分に発揮し、好記録が続出しました。

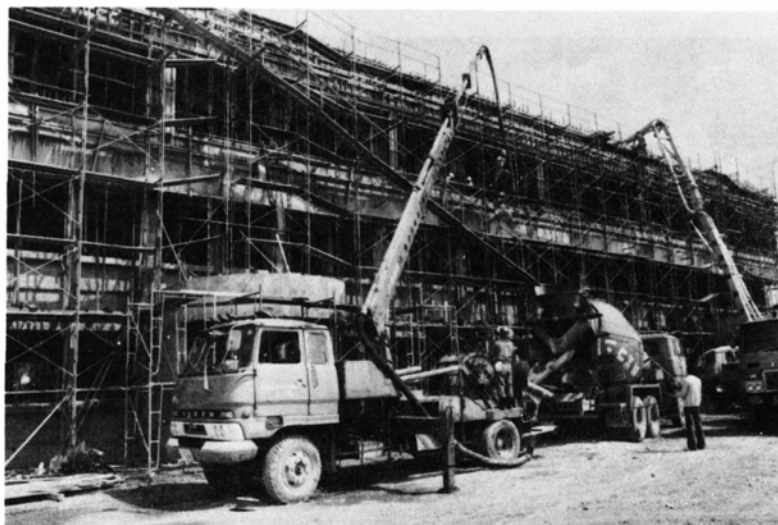
応援席では団長のリードのもと、各校それぞれに趣向をこらした応援合戦が終始にぎやかに繰り広げられ、大会のふん囲気をいやが上にも盛り立てていました。



休日急患診療所・保健センター

工事順調に進む

完成は来年2月



3階のコンクリート打ちが進む保健センター

室をはじめ、手術室・処置室・臨床検査室・X線室・薬剤室などが設けられ、日・祭日の急患診療が行われることとなります。

保健センターは1～3階の半分近い760平方メートルを占め、機能回復訓練室や保健指導室・健康相談室・研修

室・栄養指導実習室などが設けられ市民の健康づくりや各種検診に利用されます。

准看護婦学院には2～3階の583平方メートルが当てられ、市医師会が中心となって准看護婦を養成することになっています。

7月に着工した休日急患診療所と保健センターの建設工事は、来年2月の完成を目指し順調に進んでいます。場所は開成中学校北側の新庄地籍で、現在は3階部分の主体工事が行われており、全工事の約40%が終わったこととなります。

工事費は2億5,900万円。鉄筋コンクリート3階建て延べ1,625平方メートルで、休日急患診療所と保健センター・准看護婦学院が併設されます。

休日急患診療所は1階の281平方メートルで、内科・外科・小児科の各診察

有終西・阪谷小学校

体育館の建設急ピッチ

3学期から使えます

6月末から始まった有終西・阪谷両小学校の体育館改築工事も、予定通り着々と進んでいます。

西小は鉄筋コンクリート平屋建て1,299平方メートルで、ミニバスケットやバレーボールのコートなら2面、バドミントンなら6面とれます。つりなわ一式、低鉄棒5欄、ろく木10欄などが備え付けられます。

これと並行して体育館の東側に児

童玄関をはじめ給食室・用務員室など、鉄筋コンクリート平屋建て640平方メートルの校舎の建設も進められています。工事費は両方で2億9,550万円。年内に完成の予定です。

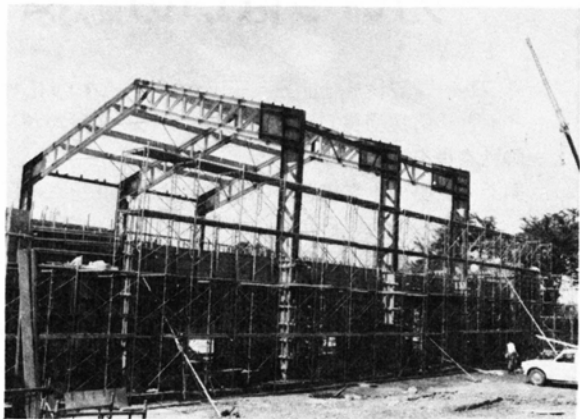
一方、阪谷小の体育館は鉄筋コンクリート平屋建て735平方メートルです。

西小と同じくつりなわ・ろく木などが備え付けられます。

工事費は9,858万円で、年内に完成の予定です。

阪谷小の校舎は今春既に完成しており、これですべて鉄筋化されることとなります。

市では小学校舎の鉄筋化を計画的に進めており、来年度以降も積極的に取り組んでいく方針です。



骨組みが出来た阪谷小の体育館

9月定例市議会

一般会計 1億6,000万円追加

総額は82億6,000万円に

第195回9月定例市議会は9月16～25日の10日間開かれ「一般会計補正予算案」「国民健康保険事業特別会計補正予算案」「上水道事業会計補正予算案」など7議案を審議し、原案どおり可決・承認しました。



修復される橋本家の屋根

災害復旧・生活関連事業に重点

一般会計では56豪雪や7月の豪雨で被害を受けた施設の復旧事業と、生活関連施設整備事業を中心に歳入歳出にそれぞれ1億6,128万5,000円が追加され、予算総額は82億6,427万5,000円になりました。

主なものは次のとおりです。

- 〈民生費〉 老人センターの浄化そのの補修に60万円。寄付による社会福祉協議会補助を400万円追加し791万円に。
- 〈衛生費〉 し尿処理場の前処理施設の改良に660万円。
- 〈農林業費〉 養蚕農家育成のため桑の木栽培試験田(30㎡)設置補助に91万円。米消費拡大特別事業委託に162万円。酪農団地のサイロ増設などの補助に643万円。肉牛の生産地を目指して畜舎建設補助に275万円。農業用水路のガードレール設置に210万円。民有林道開設に482万円追加し6,695万円に。林道開設に伴う立木補償に250万円。平沢・西大月地係の小規模治山事業に484万円。
- 〈商工費〉 五番商店街街路灯設置補助194万円。
- 〈土木費〉 県工事負担金2,600万

円追加し5,100万円。道路補修に1,000万円追加し3,500万円に。道路舗装に1,000万円追加し1億2,850万円に。橋りょう(上荒井橋)の改良に298万円を追加し、4,041万円に。小型除雪機械2台購入に200万円。河川改良工事に3,390万円追加し1億4,784万円に。下水道処理場予定地測量委託に150万円。市営住宅の障害者用

改築に150万円。

- 〈教育費〉 寄付による児童・生徒厚生事業積立金に300万円。
- 〈災害復旧費〉 林道の56豪雪災害復旧に1,452万円。林道の7月豪雨災害復旧に1,221万円。倒木起こしに499万円。豪雪による都市公園の災害復旧に1,103万円。重要文化財・橋本家の屋根修理650万円。

長寿者訪問

いついつまでもお達者で

95歳以上は15人

敬老の日を前にした9月7～10日の4日間、川崎市長は95歳以上の特別高齢者と米寿者を訪問し、長寿をお祝いしました。

今年は特別高齢者は昨年と同じく15人ですが、米寿者は47人で8人多くなっています。

市内の最高齢者は柿ヶ島の北川しもさん(明治15年4月20日生まれ)で、今年99歳になりました。88歳以上の方は7月1日現在で148人で、昨年より15人増えており、年ごとに多くなっています。特別高齢者は次の方々です。(敬称略)

北川 しも (99歳)	柿ヶ島
安田 まき (97歳)	春日1
佐々木とく (97歳)	春日1
毛利小キク (97歳)	篠座
反中 ハツ (97歳)	中野町3
水谷 とく (97歳)	春日2
藤堂 さと (97歳)	養道
米田 ワタ (96歳)	中挾
棟朝ひでを (96歳)	富島
堀田 はる (96歳)	野中
伊藤 とし (96歳)	下唯野
山田 るめ (95歳)	北御門
鈴木 六吉 (95歳)	下麻生島
矢野 きく (95歳)	本町
前田 志を (95歳)	上丁

あなたの健康は青信号ですか

「あなたは今健康だと思っていますか」
この質問に、はたして何人の方が自信を持って「はい」と答えられるでしょうか。健康づくりのキは「栄養・運動・休養」のバランスを保つことと、定期的に健康診断を受けて体の異常や病気の早期発見に努めることにあります。

健康は他人がつくってくれるものではありません。自分の日常の心掛け次第で得たり失ったりすることになります。

今月は、私たちの日ごろの生活を見直すとともに健康づくりについて考えてみましょう。



成人病検診を受ける市民(大野保健所)

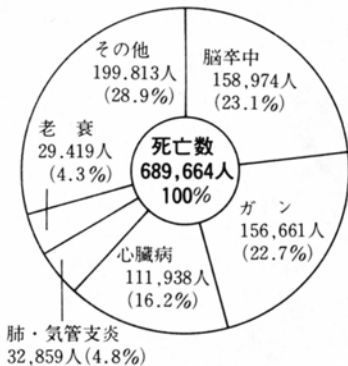
死因の6割は成人病

わが国は、今や世界有数の長寿国になりましたが、その一方で、脳卒中・ガン・心臓病などのいわゆる成人病で亡くなる人が年々増え続けています。

表①は、昭和54年の全国の死因順位を示したものです。脳卒中による死亡が23.1%と最も高く、次いでガンの22.7%、心臓病の16.2%となっており、この上位3つで全体の6割以上を占めています。

当市の状況は表②のとおりです。順位こそ違いますが、上位3つで全

表① 全国の死因別順位 (昭和54年)



体の65.8%も占めていることがわかります。

脳卒中と心臓病はいずれも循環器系の病気で、中年を過ぎると急が増える慢性病の一種です。高血圧や動脈硬化とも密接な関係にあります。

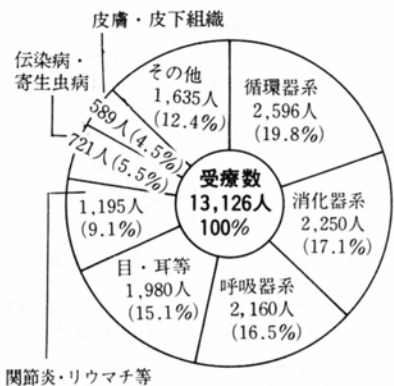
ガンによる死亡は年々増え続けており、日本人に最も多いのは、男女とも胃ガンです。男性ではガン全体の約4割、女性では3割強となっています。次いで男性では肺ガン、女性では子宮ガンが多くなっています。

これらの成人病は40歳前後から急増し、職場では働き盛り、家庭では一家の柱となっている人を襲う恐ろしい病気です。

表② 大野市の死因別順位 (55年)



表③ 国保加入者の疾病分類 (56年4月)



多い循環器系の病気

市民の健康度と病気の傾向を探るため、市内の国民健康保険加入者の実態を調べてみましょう。今年4月現在の加入世帯は5,837戸(加入率55.8%)16,114人(同37.7%)となっています。

4月の時点で、医者にかかった人は加入者の81.5%にも当たる13,126人です。

病気の種類を示したのが表③です。心臓病・高血圧などに代表される循環器系の病気が最も多く、次いで消化器・呼吸器系の順になっています。

ぜひ見なおしたい毎日の生活

す。この3つで全体の53.4%を占めています。

0～19歳では呼吸器系、20～59歳では消化器系がトップとなっており60歳以上になると循環器系が最も多くなっています。医者にかかる率が少ないのは16～29歳の若い層です。

40歳代からは絶対数が増えはじめるとともに、循環器系の病気が急増するという傾向がみられます。

このことから、40歳代は要注意期です。健康の曲がり角にあると言ってよいでしょう。

まだまだ低い受診率

それでは、どれくらいの方が検診を受けているのでしょうか。表④をご覧ください。

受診率が最も高いのは成人病検診ですが、それでも対象者の10.5%に過ぎません。胃がん検診にいたっては、4.0%という低率です。しかもせっかく受診を申し込んでおきながら、当日になって受けないという人が三、四割もいるのです。

「自分は健康だから、検診なんて……」と思っている人のなかにも、異常のある人がいるだろうということは容易に察せられます。

健康を保つためには、ふだんから定期的に検診を受けて自分の体の状態を正しくつかんでおくことが大切です。特に、成人病は自覚症状がな

表④ 集団検診の状況

(55年度)

検診の種類	受診者数 (率)	異常者数 (率)
成人病	2,305人 (10.5%)	血圧 916人 (39.7%) 検尿 168人 (7.6%)
胸部レントゲン	2,180人	47人 (2.2%)
胃がん	887人 (4.0%)	253人 (28.5%)
婦人がん	1,086人 (8.1%)	61人 (5.6%)

くても、ひそかに進行していることが多いのです。

検診は、自分の健康管理の出発点といえましょう。

適度な運動で体力を

健康づくりのかぎは、定期的な受診も欠かせませんが、栄養・運動・休養のバランスを保つことにあるといわれます。

栄養の面では、偏食を避けバランスのとれた食事に心掛けて下さい。

栄養のとり過ぎは成人病に特殊にカロリーのとり過ぎは肥満になり、いろいろな病気の原因になります。また、塩分のとり過ぎは高血圧の原因となります。1人1日当たり10g以下にするよう注意しましょう。

体力は20代の半ばから低下します。ふだん体を動かすことの少ない人は特に運動不足に陥り、単に筋肉の働



きを衰えさせるばかりでなく、心臓や血管などにも悪影響を与えます。

さあ、あなたもきょうから自分の体に合った運動を行い、バランスのとれた食事をし、マイペースの健康づくりを実践しましょう。

健康づくりは自分の手で

大野市医師会長 山川 普さん

健康、それは私たちが幸福に暮らすためにかけがえのない条件です。



世界保健機構(WHO)は「健康とは単に病気または病弱でないということではなく、肉体的・精神的・社会的に完全に良好な状態をいう」と定義付けています。

健康を獲得し、維持・増進するためには①病気や事故から自分を守る②積極的に身体を鍛え丈夫にする③健康教育によって栄養や病気についての知識を学び、日常生活に活用する④良好な環境づくりに努める——などが大切です。

特に、自分の健康に深い関心を持つとともに、自分の手で健康を築き上げるという意識が必要です。

病気にかからないうちに「自分の健康は自分で守る」ことを心掛けてほしいと思います。

たとえ現在の自分の健康・体力に自信があっても、過信するのはいけません。

高血圧・ガン・糖尿病・肺結核などは本人が全く気づかぬうちに進行していることが多く、油断出来ません。

少なくとも年1回は健康診断を受けて、体の状態をチェックすることが肝要です。成人病やガンの集団検診も十分利用してほしいと思います。

楽しみながら

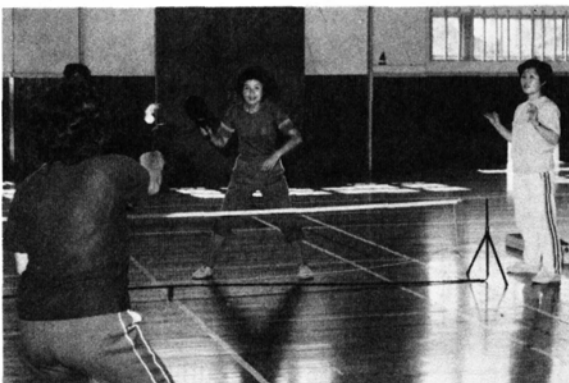
運動不足を解消

大野エスキークラブ

毎週火・木曜日の2回、有終会館でちょっと変わったスポーツを楽しんでいるグループがあります。

大野エスキークラブ（広瀬光代会長、会員12人）のみなさんです。日ごろ家事に追われ、運動不足を痛感している30～40代のお母さん方が集まり、1年前に結成されました。

エスキーテニスはテニスと卓球をミックスしたようなスポーツで、比較的狭い場所でも出来るうえ、あまりスポーツの経験のない人でも気軽に楽しめます。



練習に励むクラブのみなさん

初めころは球を当てるのがやっとなさん、すっかり上達。今春の県大会では見事準優勝に輝きました。

練習は午前10時からですが、熱が入り過ぎ、昼食を忘れることもしばしば。練習が楽しくてたまらないといった様子です。

会員の酒田俊子さんは「ふだん家にばかりいるので、年々足腰が弱くなるみたいで……。少しでも運動不足を解消しようと

思って始めました。全然経験はないんですが、とっても楽しいです。最近肩凝りもなくなったし、風邪も引かなくなりました。それに、なんとなく体力に自信がついたみたい」と、その効果を話していました。

健康はみんなの願いです。その3本の柱は栄養・運動・休養です。自分は大丈夫という過信に陥らず、常に自分の生活を振り返ってみることが大切です。毎日の生活のなかに健康・体力づくりを取り入れている人たちを紹介しましょう。

健康って本当にすばらしい

みんな明るくみんな幸せ

集団検診で早期発見

南部 忠夫さん（中丁 70歳）

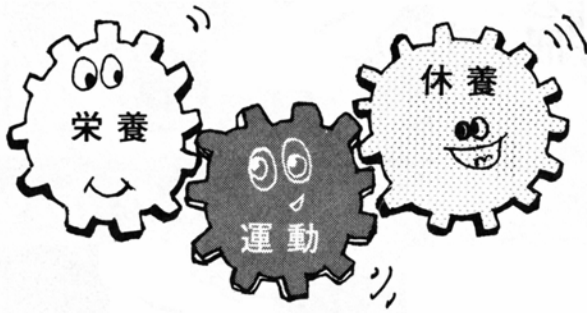
私は3年前たま胃の集団検診を受けました。別に胃の具合が悪いこともなかったので、気楽に構えていたら、なんと「異常あり」ということでした。そして、精密検査の結果、悪性腫瘍しゅようの初期と診断されたのです。



信じられなくて他の病院へも足を運びましたが、結果は同じでした。

それで決心して手術。おかげで無事成功し、こうやって元気に暮らしています。もしあの時検診を受けていなかったらと考えると、心底からゾッとします。本当に運がよかったと思います。

わずか600円の負担だけで検診が受けられるのに、まだ受けない人がかなり多いそうですが、残念なことです。だれのためでもなく自分自身のためにぜひ受けてもらいたいですね。



体質をも変える食生活

常見 幸子さん (土打 43歳)

常見さんは市内に53人いる食生活改善推進員の1人で、この仕事を引き受けてから13年余りになるベテランです。主に食生活の面から、健康づくりに取り組んでいます。

家の近くのよく手入れされた畑には、白菜やカボチャをはじめカリフラワー・アスパラ・ニラ・アオゾンなど、さまざまな自家用の野菜が作られており、いつも新鮮な野菜が食卓を彩ります。

「近年私たちの食生活は本当に豊かになった反面、偏りもあります。特に野菜類は不足しがちなので、日ごろからふんだにとるよう心掛けています。冬季用には、乾燥したり冷凍したりして保存もしています」と、野菜の必要性を訴えています。

野菜作りには出来るだけ農薬を使わないことにしており、有機肥料を中心に手掛けています。

家族の健康を守るため、常に食事

には気を配っており、糖分や塩分は控えめにするとともに、栄養のバランスを第一に考えます。

「現代人はカルシウムとビタミン類が不足がちだと言われています。牛乳・小魚・海草・緑黄野菜などは欠かせません。食生活の習慣は、



自慢の野菜を手入れする常見さん

その人の体質をも変えてしまいます。食べるということは健康体を保つ基礎です。栄養のとり方について、もっと関心を持つ必要があるのではないのでしょうか」と、野菜の手入れをしながら話していました。

朝の亀山散歩で 気分そう快



清水 利武さん (本町 58歳)

朝の亀山には、三三五五散歩を楽しむ人の姿が見られます。

清水さんもその1人です。健康・体力づくりにと、10年ほど前から始めました。

3日に一度くらいは、奥さんも仲良く一緒に登っています。

まだ朝もやの濃い5時ごろ、トレーニングウェアにズックの軽装で足どりも軽く亀山を目指します。

「周りの草木に目をやったり、小鳥のさえずりを聞きながら登ります。空気もピンヤリと澄んでいて、実によくうまいです」と利武さんの顔がほ

ころびます。

山頂では軽く体操をして体をほぐした後、晴れたときは「日の出、を拝んだりします。

実にすがすがしく、さわやかな気分になり、ストレスも吹っ飛んでしまうとのこと。

昨年からは、亀山の裏に畑を借りて家庭菜園も楽しんでおり、山から下りたその足で、野菜の世話にも汗を流しています。

「早起きしてひと汗かいた後、シャワーを浴びてから朝食をとります。そりゃー、気分はそう快ですよ。今では生活の一部になってますから、少しぐらいの雨や雪でも休んだことはありません。山登りが好きであちこち出掛けるんですが、おかげで足もまだ丈夫です。これまで寝込むような病気はしたことがありません」と、元気よく話していました。



むつまじく散歩を楽しむ清水さん夫妻

仲間の輪を広げよう

勤労青少年ホームは
あなたの広場です



働く若人の憩いの場として、この5月オープンした勤労青少年ホームも早や5カ月が過ぎました。今月からは新たにエチケツト講座と卓球教室が加わり、行事も多彩になります。



上達する腕前がとても楽しみ

料理教室 酒井 淳子さん

家では妹と交代で食事の準備をしています。料理にはちょっと関心がありますので、以前から習いたいなあと思っていたんです。

ちょうどここで料理教室が開かれ

るというチラシを職場で見たものです。すぐ申し込みました。

8月から始まりました。2週間に1回ですが、待ち遠しくって…。

まだ4回しかやっていませんが、全部で12回の予定です。終わるころにはどんな腕前になるか楽しみです。

もっとたくさんの方が参加されるのかと思っていたんですが、意外に少なくてさみしい思いがしました。

今からでも遅くはないですから、参加されたらいいと思います。

これまでにサツマ芋を使った料理や、コロッケの作り方などを習いましたが、みんなで手分けして話し合いながらにぎやかに作るのには本当に楽しいです。2時間がアツという間に過ぎてしまいます。

出来上がったものを試食するのもまた格別です。



社交ダンス 白崎 友英さん

うまく相手をリードしたい

初めて社交ダンスを知ったのは昨年の暮れでした。

会社のダンスパーティーがあって、そのための練習会が5回ほどありました。

やってみると面白かったので、もう少し習いたいと思っていました。

ホームのダンス講座は8月から始まり、週1回の練習には欠かさず参加しています。

これまではジルバ・マンボ・トロットなどの基礎練習でしたが、これからはターンやステップの応用などを取り入れていくので、だんだん難しくなります。

初めのうちは相手の女性を自分の足に引っ掛けて、転ばせてしまった失敗もありました。

社交ダンスは、特に男性が女性をリードしなければなりません。リードが悪いと相手とチグハグになってしまいます。もっと練習して、自分もパートナーも楽しいダンスが出来るようになりたいと思っています。

ダンス仲間も出来ましたし、いつまでも続けたいです。



料理教室



きもの着付教室



社交ダンス教室

楽しい人生のために

少年ホーム

青春時代の思い出を

こころの手帳に……

した。開館以来、ホームの主催行事の参加者やグループでの利用者も次第に増えてきています。青春の思い出を残すため、あなたもぜひ足を運んでみて下さい。



喫茶コーナー



ロビー



ジャズダンス

われを忘れて練習に打ち込む

ジャズダンス 小池上智子さん



私は子供のころ民族舞踊を習っていたものですから踊りには興味がありましたし大好きなんです。

ですから、ここでジャズダンスをすると聞いて、すぐ申し込みました。

たしか7月10日ごろから始まったと思いますが、最初から休まず参加しています。

練習は週1回ですし、参加者が50人以上もいるため2班に分けて行うので、1時間しか出来ないんです。

せめて2時間させてほしいんですけど……。

ジャズダンスはテレビの商業シャルで見たことはありますが、実際に踊るのは初めてです。今はまだ曲に合わせて先生の振り付けどおり、手・足・首・腰などを動かす基本練習です。リズムに乗って体を動かしていると、何もかも忘れてとても楽しいです。疲れなんて全然ありません。一生懸命練習し早く上手になって、将来はプロの道を……なんて考えています。全身を使うものですから美容にもいいんですよ。

一人で出掛けても退屈しない

常時利用者 山崎 光弘さん



ホームが出来た5月の中ごろから利用しています。

卓球やバドミントンが好きで、どこかで出来ないかと思っていたら友人が誘ってくれたものだから来るようになりました。

今はほとんど毎日来ています。1人で来ても必ずだれかはいるし、軽運動室で卓球をしたり、ロビーで仕事やバイクなどの話をしています。

なかにはレコードを持って来る友人もいるのでステレオを聴いたり、テレビを見たりもします。

僕は気が小さくて、これまであまり他人と話すこともなかったし、特に女性とは口も利けなかったんですけど、ここでは遊んでいるうちに自然と話をするので、今では女性の友人も出来て大変よかったと思っています。

いろいろ面白くないことや不満があっても、みんなで話をしたりレコードを聴いたりしているとみんな忘れて気分がスカッとします。

出来ることなら9時閉館を10時まで延ばしてほしいですネ。



やめよう “ポイ捨て,”

ジュースやビールなどのかん入り飲料の全国的な普及に伴い、近年大きな問題になっているのが、空きかんの散乱です。近くにクスカゴミもないし、1つくらいはいいだろう——との安易な考えから投げ捨てられる空きかん。街や自然の美観を損なうばかりでなく危険でもあり、また、私たちの公德心の欠如をさらけ出しています。通り魔汚染——空きかん公害について、みんなで考えてみましょう。



散乱した空きかんを回収する市婦人会のみなさん

年間100億個も

みなさんは、この狭い日本で1年間にどれだけの空きかんが出ると思えますか。なんと約100億個です。日本人1人当たり、年間に80個以上

上のかん入り飲料を消費している計算になります。

かん入り飲料は、いつでもどこでも手軽に買えるうえ、持ち運びに便利です。

でも、この便利さの裏で、私たちの街や山河が汚染されています。

「自動車に乗っていて始末に困ったから」「ゴミ箱がなかったから」「みんなが捨てていたから」といった理由で、ポイ捨てするのでしょうか、その是非はだれにもわかりきっています。

この投げ捨ては、まさに通り魔汚染といわねばなりません。自分勝手な行動はぜひ改めたいものです。

後始末はだれが

投げ捨てられた空きかん類の後始末は、市の清掃事業としても行っていますが、善意の奉仕活動に頼っている面もかなりあります。

ところが、いくら回収しても次から次へと捨てる人がいるのではさいの河原です。空きかんは絶対に投げ捨てないということを、1人ひとりが守って、美しい環境を保たねばなりません。

また、市ではゴミの分別収集をしていますが、まだ燃えるゴミの中にかん類が混じっている場合が多くあります。これは焼却炉を傷め、故障の原因にもなっています。

空きかんが私たちの税金を食べている——という悪循環に陥らないためにも、お互いにちょっとした心遣いを持ち、それを実行することが極めて大切です。



④3 城地出

蔵生は、中休・城地出・中野出上唯野の4集落からなっています。堂坊を中心として出来ていた散村で、荒島信仰の厚かった時代は多くの信仰者がたむろする一種の「山伏集落」であったともいわれています。

塚原が耕地整理されて以来16年になりますが、田んぼの真ん中に塚が残されています。そこには修験者が業をしたという大岩と、身を隠したといわれる小岩があります。城地輝治さんはこの塚の持ち主で、家のすぐ近くの弁財天の世話もしています。

輝治さんの親戚にあたる城地京示さんの家は、通称「六右衛門さん」と呼ばれ、酢を製造していますが、入り母屋造り、平入りのくず屋で、屋敷が9,000平方にもあ



ります。祖先はこのあたり一帯の大地主で、板間天井を中心とした梁組の太い柱などから、家の歴史の古さがわかります。

明和3年(1766)勝山藩主の小笠原信房公が領地巡視の折、城地家に立ち寄られ、広い築山のある庭から奥座敷に入られたそうです。

藩主の許しを得て作られた冠木門があり、天保9年(1838)には金子を御用立てしたので、御紋付きの上下を賜ったそうです。

庭の散歩道を上ると、雨にぬれたコケの色が鮮やかで、秋虫がしきりに鳴いていました。(T生)

お知らせ

◆秋の文化講演会

市教育委員会・大野青年会議所共催で次のとおり、秋の文化講演会を開きます。多数聴講下さい。

〈日時〉10月24日(土)午後4～5時30分

〈場所〉市民会館大ホール

〈講師〉社会評論家 草柳大蔵氏

〈テーマ〉日本の家庭を考える

講演会に先立って、3～4時はNHKの「シルクロード」の映写会が行われます。

◆市民体力テスト

市民体力テストを次のように行います。健康づくりのため、この機会に自分の体力を確かめましょう。

〈日時〉10月10日(体育の日)午前9時～午後3時

〈場所〉有終会館

〈対象〉健康な一般市民

〈服装〉体操の出来る服装で、ズック持参

〈問い合わせ〉市教委体育課(6-1111内線409)

◆市民弓道大会

〈日時〉10月25日(日)午前9時

〈場所〉市営弓道場・市民グラウンド

〈参加資格〉弓道の経験がある大野市民であれば、年齢・性別は問わない

〈部門〉高校の部・一般の部

〈申し込み〉10月21日(水)までに市教委体育課へ

◆市民バドミントン大会

〈日時〉10月25日(日)午前8時

〈場所〉大野高校体育館

スマイル

「ガン検診」

ミウラは大丈夫、がガンです。

—××保健所

今年最後の施設めぐり

多数参加して下さい

今年最後の「施設めぐり」が次のとおり行われます。

私たちの郷土を再認識する良い機会です。奮って参加下さい。

〈日時〉10月30日(金)午前8時30分～午後5時(雨天決行)

〈対象〉一般市民100人

〈経費〉100円(宝慶寺宝物殿 拝観謝礼)

〈持ち物〉水筒・雨具など(昼食は市で準備します)

〈申し込み〉10月23日(金)までに市役所秘書広報課(6-1111内線203)へ



〈コース〉市役所～老人福祉センター～北部保育園～陽明中学校～市清掃センター～有終東小学校～市農協カントリーエレベーター～奥越高原牧場～奥越青少年の森(昼食)～真名川ダム～宝慶寺憩いの森～宝慶寺～市役所

〈参加資格〉市内の中学・高校生および一般市民。年齢・性別は問わない

〈競技種目〉男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス

〈競技方法〉トーナメント法

〈申し込み〉10月17日(土)までに市教委体育課へ

◆危険物取扱者試験

危険物取扱者試験が次のとおり行われます。

〈試験日〉11月8日(日)

〈試験会場〉勝山市教育福祉会館

〈種類〉乙種4類(石油類等)

〈願書受付期間〉10月7～16日

〈予備講習会〉10月28日(水)市役所大会議室

詳しくは消防署予防課危険物調査係(6-1111内線413)へ問い合わせして下さい。

◆文化祭出品申し込み

今年の文化祭は11月1～3日の3日間、市民会館・有終会館を主会場に開かれます。

絵画・書道・工芸・写真・彫そ・余技作品などの出品申し込みを10月

20日まで、各公民館と市教委社会教育課で受け付けています。多数応募して下さい。

◆市美術協会の会員展

今春、市内の美術愛好家によって結成された市美術協会の「創立記念会員展」が、10月8～11日の4日間市民会館ロビーで開かれます。多数鑑賞下さい。

◆中・高齢者の雇用を



10月1～31日は「中高年齢者雇用促進月間」です。わが国は急速に高齢化が進み、昭和

60年には5人に1人の割合で高齢労働者(55歳以上)が占めるといわれています。

豊かな職業経験や能力を生かすため、中・高齢者の雇用を進めましょう。

雇用した場合は定年延長奨励金や継続雇用奨励金・特定求職者雇用開発助成金などの援護制度が適用されます。詳しくは大野公共職業安定所(6-2408)へ尋ねて下さい。

市民カレンダー

10月10日～10月24日

10 (土)	体育の日 目の愛護デー	市民体力テスト	9.00～15.00	有終会館	休日当番医	内科 九岡診療所 外科 米野医院
11 (日)					休日当番医	内科 杉山医院 外科 尾崎整形外科病院
12 (月)	レントゲン・成人病	10.30～11.00	上打波岡宅	人権相談	13.00～16.00	上庄公民館
	レントゲン・成人病	13.30～14.00	下打波集会場	行政相談	10.00～15.00	上庄公民館
	レントゲン・成人病	15.00～15.30	市農協勝原出張所	狂犬病注射	14.40～15.00	旧五箇郵便局
13 (火)	満月	交通事故相談	10.00～16.00	市役所	金融相談	13.00～16.00
		献血	10.00～15.00	市農協マーケット	特設行政相談	10.00～16.00
14 (水)	鉄道記念日	結婚相談	10.00～15.00	有終会館		
		レントゲン・成人病	13.00～15.00	宝慶寺あまご亭		
15 (木)		心配ごと相談	9.00～12.00	市役所	子宮ガン検診	13.00～14.00
		人権相談	13.00～16.00	大野公民館		
16 (金)		耳の更生相談	13.00～15.00	有終会館	今月の納税 市・県民税 第3期分 10月31日までに納めて下さい。	
		子宮ガン検診	13.00～14.00	上庄公民館		
17 (土)	貯蓄の日	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館		
18 (日)	家庭の日 統計の日	休日当番医	内科 高井医院 (稲郷) 外科 松田外科医院			
19 (月)		愛育会検診	13.30～14.30	上庄公民館		
		経営相談	13.00～16.00	商工会議所		
20 (火)		社会保険年金相談	10.00～15.00	織物工業組合	行政相談	10.00～15.00
		1歳半児検診	13.00～14.00	有終会館	労務相談	13.00～16.00
21 (水)		結婚相談	10.00～15.00	有終会館	麻しん	13.30～14.30
		愛育会検診	13.30～14.30	小山公民館	生ワクチン	13.30～14.00
22 (木)		心配ごと相談	9.00～12.00	市役所	生ワクチン	13.30～14.00
		交通事故相談	10.00～16.00	市役所	生ワクチン	13.30～14.00
		無医地区診療	13.30～15.00	下打波集会場		
23 (金)	電信電話記念日	生ワクチン	13.30～14.30	市民会館		
24 (土)	国連の日	シルクロード映写会	15.00～16.00	市民会館大ホール		
		文化講演会	16.00～17.30	市民会館大ホール		

も
ある。
(D生)

り、秋が深まるにつれて美しく紅葉し
市民の目を楽しませてくれる▼視線を
川に転ずると、これまた美しく澄み、
やさしいせせらぎが……と書きたいと
ころだがそうはいかず、目を悲しませ
てくれるという現状である▼秋晴れの
ある日、孫と二人で自宅の前を流れる
川縁で、草むしりをした。孫が取った
草を川へ捨てようとしたので、注意す
ると「だって川の中にゴミたくさんあ
るよ」と。私は返す言葉がなかった▼
川の流れの関係からか、イヤなこと
に空カン・空ビンなどが自宅の前でた
まってしまうのだ▼わたしの家が捨て
てたようで、誠にもって具合が悪い。
町内の清掃でさらい上げたら、一輪車
に二台分あった。そして今も累々と横
たわっているのだ▼イトヨの住む本願
清水に行ってみた。ここはまさか……
と思っていたが、期待は裏切られた。
自宅の前よりバラエティーに富み、常
連の空カン・空ビンに加えて、ニュー
フェースの買物カゴまであったのには
恐れ入った。これはいったいどうした
ことだろうか▼市民の協力で札幌の豊
平川にはサケが続々帰って来たという。
高山市内を流れる川にはヒゴイが美し
くたくとうているのだ▼言葉だけでは
川は美しくならない。心の目を開きた
いものだ。そう、十月十日は目の日で



大野の空は、工場
などから吐き出され
る煙に汚されること
もなく、澄んでいる。
野山の緑も豊富であ
る。